

2019年度 高大連携授業 アンケート調査報告書

群馬医療福祉大学 IR室

〈研修実施日時〉令和元年（2019年）8月5日（月）～8月8日（木）

〈会場〉群馬医療福祉大学 3キャンパス（8/5.8/8 前橋、8/6 藤岡、8/7 本町）

1 参加者について

（1）参加者総数 ※アンケート回収数ではなく、参加者総数（一部欠席の者もカウント）

	高校生	在学生	合計
2017年度	40	34	74
2018年度	102	16	118
2019年度	140	28	168
前年度比	+38	+12	+50

※アンケート回収数は、在学生在が27のため、2減。

① 高校生参加者が前年度から約1.4倍に大幅増加

- ・前年度に引き続き大幅に高校生参加者が増加。昨年度から導入された「高大連携型AO入試」の導入が大きな要因とみられる。特にアンケート結果にも見られるように、高大連携型AO入試などで講座を活かしながら受験に望める面が強い。
- ・看護学部、理学療法専攻、作業療法専攻、医療秘書・事務コースの希望者の増加が著しい。介護福祉士希望者は横ばい。看護・リハ第一志望参加者割合は高校生参加者の約78%。前橋キャンパス全体で18%。

2 アンケートについて

（1）アンケート概要

1) アンケート回収数 167/169 （在学生在27、高校生140） 回収率99%（高校生100%）

全8問で構成 ※アンケート用紙は、付録1を参照

《質問のねらい》

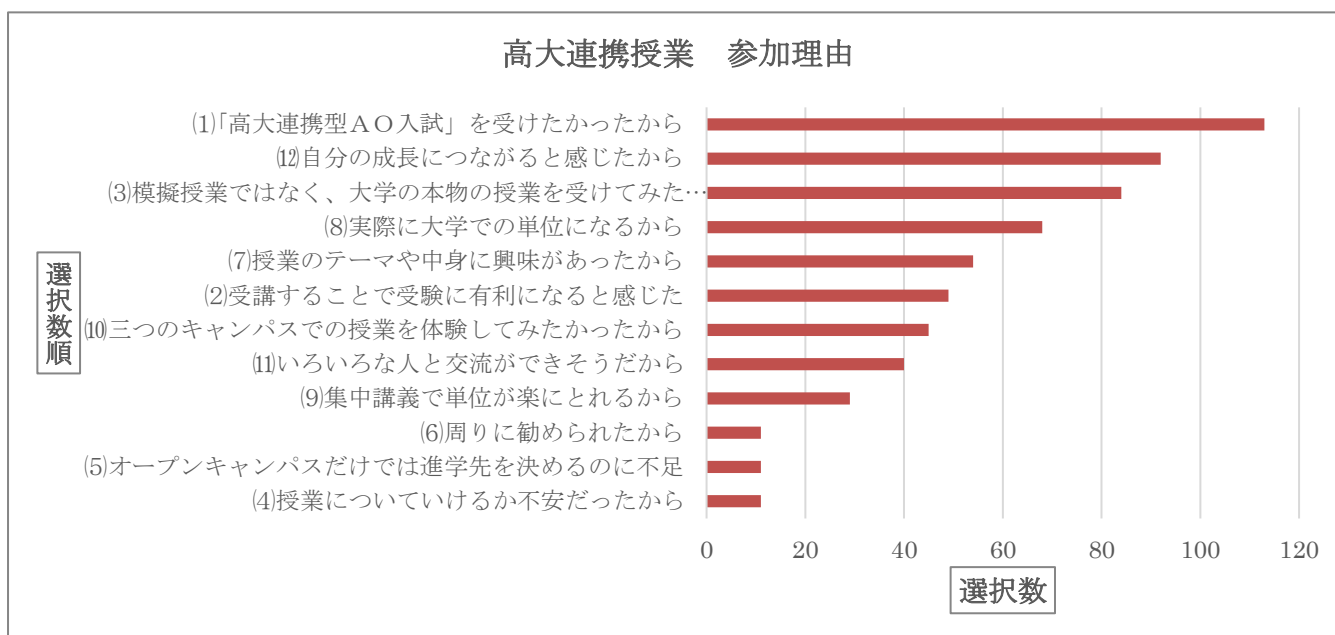
- Q1 参加動機（複数回答）
- Q2、3 運営・進行面
- Q4、5 授業自体の理解・満足度
- Q6、7 参加の満足度・入学希望の度合い
- Q8 参加の満足度が高い授業の選択（上位3つまで）

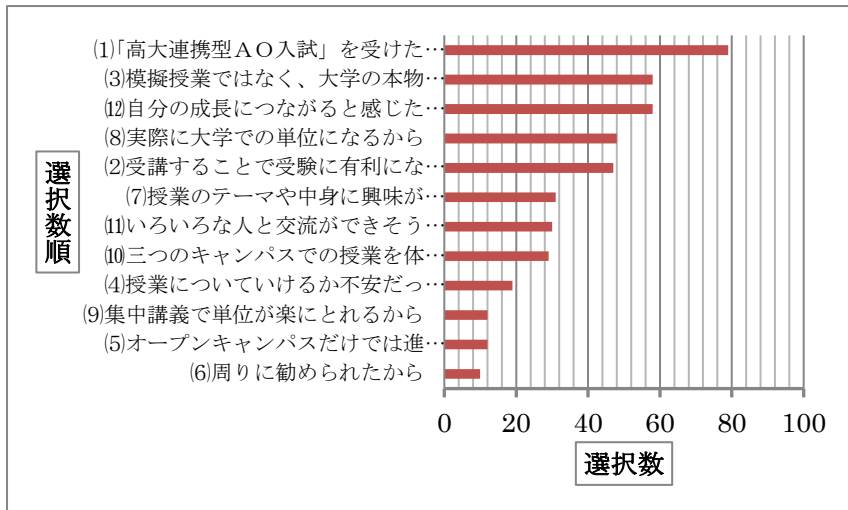
2) アンケート項目別分析

※ここでは特に高校生参加者の動向を探るために、在在生を除き高校生のみの集計結果を提示する。在在生の選択数等については、数字のみを挙げる。

Q. 1 本学の高大連携授業に参加しようと思ったきっかけについて、当てはまるものの記号に○をつけてください
(複数回答可)

	選択数	選択率(高校生 140 名の選択率)
(1)「高大連携型AO入試」を受けたかったから	113	80.7%
(2)受講することで受験に有利になると感じた	49	35.0%
(3)模擬授業ではなく、大学の本物の授業を付けてみたかったから	84	60.0%
(4)授業についていけないか不安だったから	11	7.9%
(5)オープンキャンパスだけでは進学先を決めるのに不足	11	7.9%
(6)周りに勧められたから	11	7.9%
(7)授業のテーマや中身に興味があったから	54	38.6%
(8)実際に大学での単位になるから	68	48.6%
(9)集中講義で単位が楽にとれるから	29	20.7%
(10)三つのキャンパスでの授業を体験してみたかったから	45	32.1%
(11)いろいろな人と交流ができそうだから	40	28.6%
(12)自分の成長につながると感じたから	92	65.7%
合 計	607	





上図. 今年度

左図. 前年度

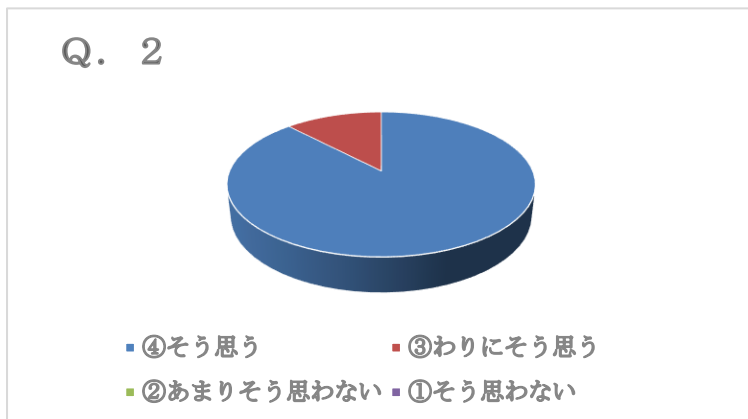
《分析》

- ① 昨年度に引き続き「高大連携型AO入試」の受験を前提とした参加が113名とおよそ8割(80.7%)と最も多く、前回に引き続き最大の参加理由となっている。
- ② これも昨年度同様、大学の「本物の授業を受けてみたい(60%)」または「成長につながる(65.7%)」という期待が、

大きな参加理由となっている。

- ③ 「授業に不安」「オープンキャンパスで進学先を決めるのに不足」「周りに勧められたから」など、不安の解消や進学先決定の決め手探しを理由とした参加は少数だが存在している。全体的に、積極的に合格を狙う多数派の医療系志望参加者の中に、迷いをもつ少数の参加者が混ざっているという参加者像が浮かんでくる。

Q. 2 高大連携授業全体の運営や進行について満足ですか

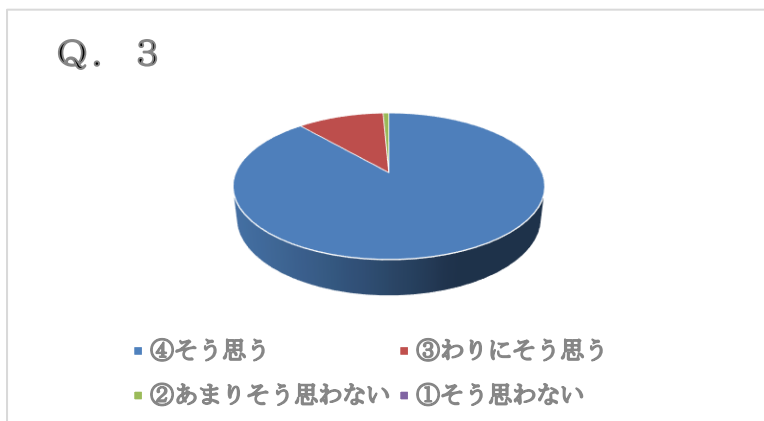


※高校生のみ	人数	割合
④満足	123	87.9%
③わり満足	17	12.1%
②あまり満足	0	0.0%
①不満足	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	140	100.0%

《分析》

- ① 運営や進行については、高校生参加者のすべてで満足という結果となり、十分な満足が得られている。
- ② 大学生27名では、2名(7.4%)が、運営や進行に不満を感じている。ただ、前年度、在学生の四分の一が不満を感じていた状態からは改善がなされている。

Q. 3 三キャンパスを回って授業に参加することはよかったと思いますか

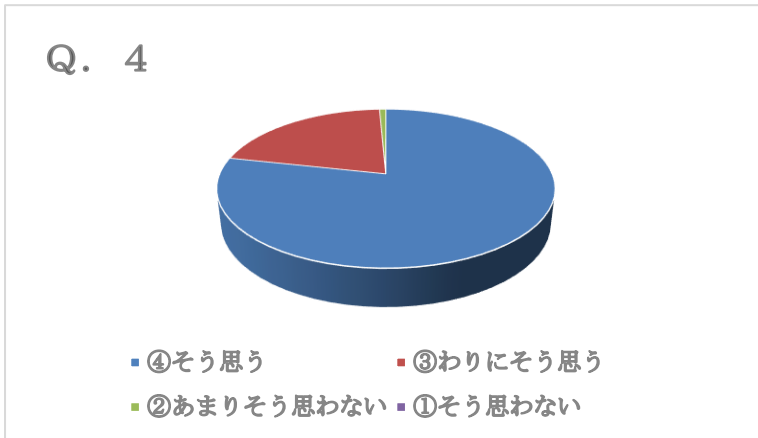


※高校生のみ	人数	割合
④満足	124	88.6%
③わり満足	15	10.7%
②あまり満足	1	0.7%
①不満足	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	140	100.0%

《分析》

- ① 三キャンパスを回っての授業については、139名（99.3%）が満足と回答。高校生はほぼ不満なし。
 ② 在學生は27名中5名（18.5%）が②「あまりそう思わない」、3名（11.1%）が①「そう思わない」を選択。特に自由記述内で、人数が多かったためにリハや看護の実習室などでの授業が受けられなかったことへの不満が示されていた。

Q. 4 全体的に、授業はわかりやすかったですか

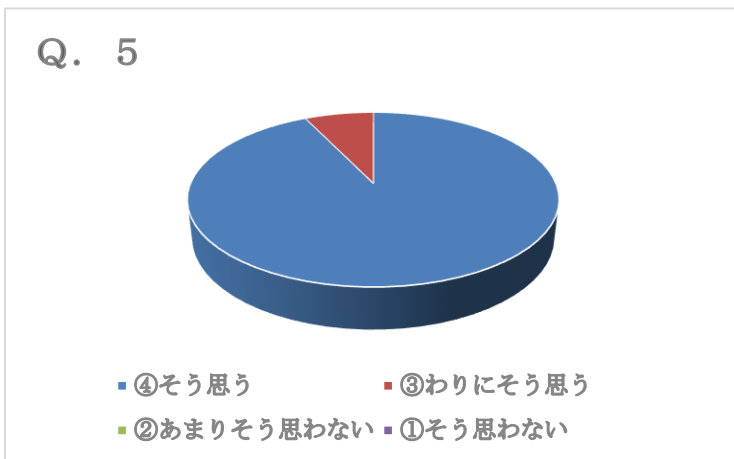


※高校生のみ	人数	割合
④そう思う	109	77.9%
③わりにそう思う	29	20.7%
②あまりそう思わない	1	0.7%
①そう思わない	0	0.0%
無回答	1	0.7%
合計	140	100.0%

《分析》

- ① 授業については、138名（98.6%）がわかりやすかったと回答。この面では授業内容のレベルや教授法は適切だといえる。
 ② 在學生も27名中26名（96.3%）がわかりやすかったと回答。

Q. 5 全体的に、授業から知的な刺激を受けることができましたか



※高校生のみ	人数	割合
④そう思う	130	92.9%
③わりにそう思う	10	7.1%
②あまりそう思わない	0	0.0%
①そう思わない	0	0.0%
無回答	1	0.7%
合計	140	100.0%

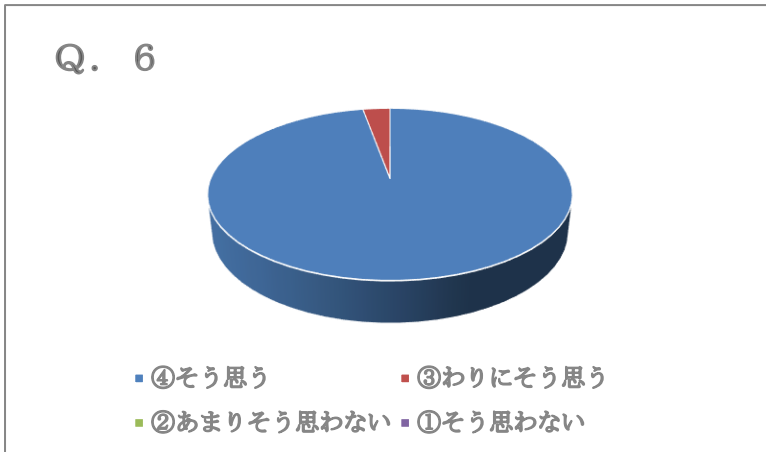
《分析》

- ① 昨年度に引き続き、140名（100%）全員が知的な刺激を受けたという回答であった。

※高校生のみ	人数	割合
④そう思う	136	97.1%
③わりにそう思う	4	2.9%

②あまりそう思わない	0	0.0%
①そう思わない	0	0.0%
無回答	0	0.7%
合 計	140	100.0%

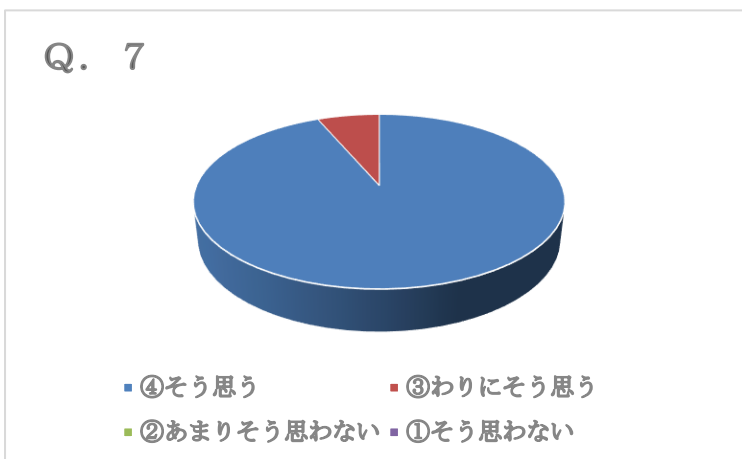
Q. 6 高大連携授業に参加してよかったと思いますか



《分析》

- ① 昨年度に引き続き、140名（100%）全員が参加してよかったという高い満足度であった。
- ② 在学生については2名（7.4%）が②を選択しているが、25名はよかったと回答している。

Q. 7 本学に入学したい気持ちは高まりましたか



※高校生のみ	人数	割合
④そう思う	131	93.6%
③わりにそう思う	9	6.4%
②あまりそう思わない	0	0.0%
①そう思わない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合 計	140	100.0%

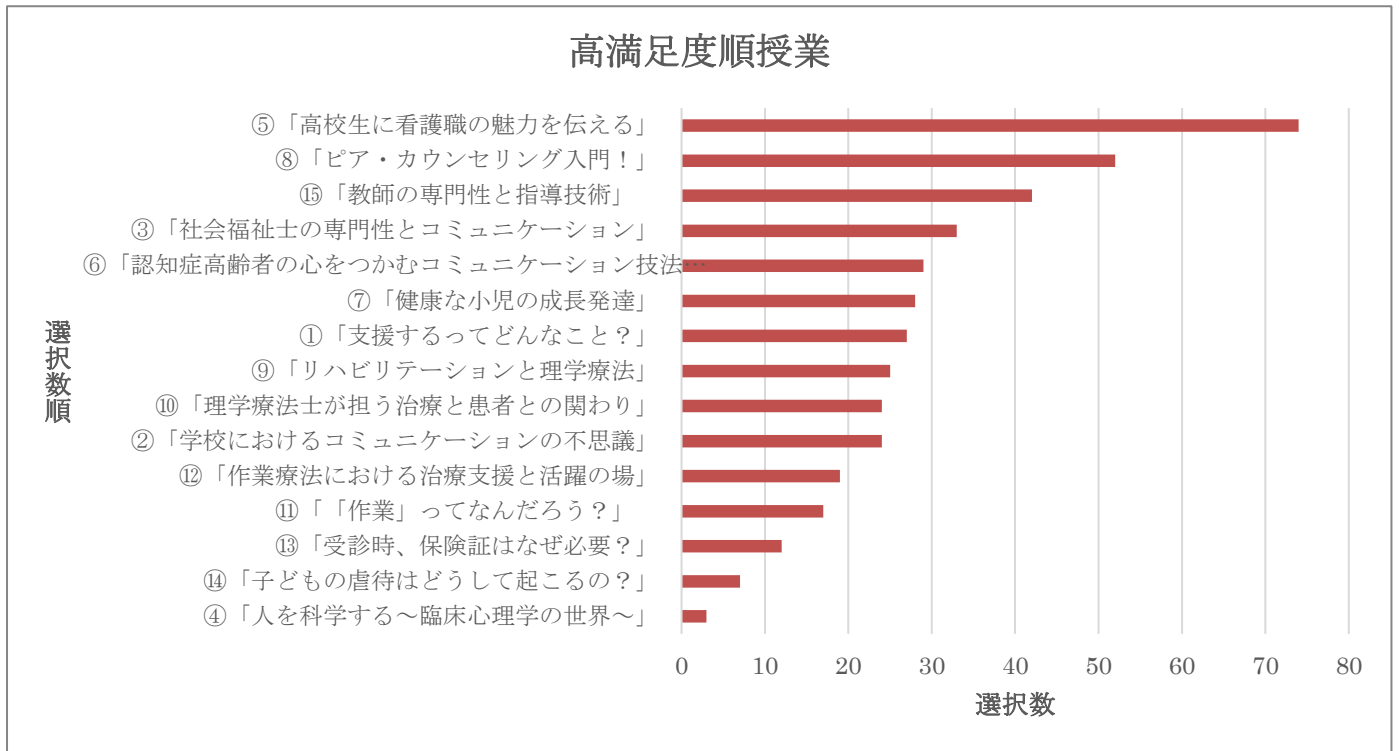
《分析》

- ① 高校生参加者は、全員が入学への動機が高まったと回答しており、この面での授業の意義は高い。

Q. 8 参加をして良かったと思う授業について、上位三つまでを選び、記号で答えて下さい（※高校生のみ）

	選択数	選択率（114名全体の選択率）
⑤「高校生に看護職の魅力を伝える」	74	52.9%
⑧「ピア・カウンセリング入門」	52	37.1%
⑮「教師の専門性と指導技術」	42	30.0%
③「社会福祉の専門性とコミュニケーション」	33	23.6%
⑥「認知症高齢者の心をつかむコミュニケーション技法を学ぼう」	29	20.7%
⑦「健康な小児の成長発達」	28	20.0%
①「支援するってどんなこと？」	27	19.3%

⑨「リハビリテーションと理学療法」	25	17.9%
⑩「理学療法士が担う治療と患者との関わり」	24	17.1%
②「学校に越えるコミュニケーションの不思議」	24	17.1%
⑫「作業療法における治療支援と活躍の場」	19	13.6%
⑪「「作業」ってなんだろう？」	17	12.1%
⑬「受診時、保険証はなぜ必要？」	12	8.6%
⑭「子どもの虐待はどうして起こるの？」	7	5.0%
④「人を科学する～臨床心理学の世界～」	3	2.1%



《分析》

- ① 30%以上の参加者に選択をされた科目は、看護（2）、教育（1）。4位の社会福祉の授業も含め、上位の科目はアイスブレイクの導入やグループでの活動、また先輩が参加をするなどのアクティブ・ラーニングの要素が取り入れられている。
- ② 作業療法、社会福祉、心理系科目などが低くなってしまったが、自由記述を見ると、「動かない授業」「一方的に聞く授業」になっていることが大きな要因になっていると考えられる。今後も演習やグループワーク、探究的な内容など、動きや創造的な活動のある内容が求められる。
- ③ 医療系はある程度の選択率を保っているが、上位授業に比較すると、希望学科/コース外の参加者から選択されるよう、アクティブな活動や多様な教材の提示など、工夫が求められる。
- ④ 昨年度と同様、参加者のうち多くは医療系志望だが、受講をしてよかった科目と希望学科やコースに強い関連があるというより、授業そのものの満足感が選択の決め手になっている。
- ⑤ 昨年度と同様、出願率と重ねると、授業の良しあしが出願に影響を与えることはない結論づけられる。
